

第 21 回びわこウィーク 兼 2022 年度 北信越・近畿 420 級セーリング選手権大会 帆走指示書

- [DP] の表記は、その規則の違反に対するペナルティーを、プロテスト委員会が裁量により失格より軽減することができることを意味する。
- [SP] の表記は、レース委員会が審問なしに標準ペナルティーを与えることができる規則を意味する。レース委員会は抗議することもでき、その場合には審問を経てプロテスト委員会の裁量によりペナルティーが決定される。
- [NP] の表記は、その規則の違反は艇による抗議の根拠とはならないことを意味する。

1. 規則

- 1.1 本大会には『セーリング競技規則』(以下、「RRS」という)に定義された規則が適用される。ただし、この帆走指示書の各項(以下、「SI」という)で、RRS の一部を変更する。
- 1.2 RRS 付則 T(調停)が適用される。RRST1 に基づく「レース後ペナルティー」を履行した艇は、得点略語 ARB を用いて記録される。これは RRS A10 を変更している
- 1.3 RRS G3 に基づき、チャーター艇にはクラス規則に反している国を示す文字やセール番号を付けることができる。
- 1.4 420級は RRS 87 および 420 クラス規則 A.8.2 に基づき、420 クラス規則の C.5.1 a)に以下の文を追加する:
 - 4) 自らの安全のために、マスト・トップに揚力を起こさない形状の浮力体の取付を認める。
 - 5) アンカー及びアンカーロープの積載を認める。
- 1.5 レーザーラジアル艇は自らの安全のためマスト・トップに揚力を起こさない形状の浮力体の取付を認める。直径6mm 長さ5m 以上のパウラインをパウアイに付けておかなければならない

2. 競技者への通告

①オンライン掲示板

公式掲示は以下のオンライン掲示板で行う (掲示内容ごとにページが分かれていることに注意)
物理的な掲示板は設置しない

②LINE オープンチャット

会場内アナウンスや、開閉会式の案内、陸上・海上での旗の掲揚降下、選手の呼び出しなどは以下の LINE オープンチャットで行う。オンライン掲示板と掲示時刻や内容が異なる場合は、オンライン掲示板の内容を公式とする

選手や支援者による LINE オープンチャットへの質問などの投稿は禁止とし、質問や連絡はメール(kyotofu.sailing@gmail.com)やレースオフィスで申し出ること

公式掲示板(オンライン掲示板)

<https://www.racingrulesofsailing.org/documents/5231/event>

大会 LINE オープンチャット

https://line.me/ti/g2/quCSTbW8zVgiSH7tITpEhF_SvNIkVRQOFcZluA?utm_source=invitation&utm_medium=link_copy&utm_campaign=default

公式掲示板



大会オープンチャット



3. 帆走指示書の変更

帆走指示書の変更はそれが発効する当日の最初の予告信号の 60 分前までにオンライン掲示板(ドキュメントページ)に掲示される。ただし

- (a) レース数の変更は、当日の 8:00 までに掲示される。
- (b) その他のレース日程変更は、それが発効する前日の 19:00 までに掲示される。

4. 陸上で発する信号

- 4.1 陸上で発する信号は、府連艇庫前に掲揚される。
- 4.2 音響 1 声とともに掲揚される D 旗は、「予告信号は D 旗の掲揚後 40 分以降に発せられる」ことを意味する。
- [DP] 艇は、この信号が発せられるまで、出艇してはならない。

5. レース日程

- 5.1 レース日程と、それぞれの日の最初のレースの予告信号の予定時刻は以下の通り。

1 日目：3 月 25 日(金)	受付	10:00
	開会式・ブリーフィング(zoom にて)	11:00
	最初のレースの予告信号	420 級 12:00 レーザーラジアル級 12:07
2 日目：3 月 26 日(土)	ブリーフィング(zoom にて)	7:45
	最初のレースの予告信号	420 級 9:00 レーザーラジアル級 9:07
	最終日：3 月 27 日(日)	ブリーフィング(zoom にて) 7:45 最初のレースの予告信号 420 級 9:00 レーザーラジアル級 9:07 閉会式(大会本部前にて集合) 14:30

- 5.2 各クラス 8 レースを予定する。1 日あたりのレース数は、1 日目と 2 日目には 3 レース、最終日には 2 レースを予定する。
- どの種目も 2 レース以上予定より前倒しにならない場合に限り、1 日につき 1 つの追加レースを行うことがあり、その変更は SI 3 に従って行われる。
- 5.3 1 つのレースまたは一連のレースが間もなく始まることを艇に注意喚起するために、予告信号を発する最低 5 分以前に、音響 1 声とともにオレンジ色旗を掲揚する。
- 5.4 1 日目と 2 日目には、16:00 より後に予告信号を発しない。最終日には、12:00 より後に予告信号を発しない。
- 5.5 2 日目には、レース委員会は昼食のために艇を着岸させる。

6. クラス旗

クラス旗は以下の通りとする。

種目	クラス旗	旗色
420 級	420 級クラス旗	白地
レーザーラジアル級	レーザー級クラス旗	白地

7. レース・エリア

添付書 A にレース・エリアの位置を示す。

8. コース

- 8.1 添付書 B は、レグ間の概ねの角度、通過するマークの順序、それぞれのマークをどちら側に見て通過するかを含むコースを示す。
- 8.2 予告信号以前に、レース委員会信号船に、以下を掲示する：
- (a) 添付書 B に示した、艇の帆走すべきコースを指示する信号の文字、および、
 - (b) 最初のレグのおおよそのコンパス方位。

9. マーク

- 9.1 スターボード端のスタート・マークは、オレンジ色旗を掲げたレース委員会信号船とする。
- 9.2 一方のフィニッシュ・マークは、青色旗を掲げたレース委員会艇とする。
- 9.3 その他のマークは、以下の通りとする。

種目	ポート端の スタート・マーク	マーク 1	マーク 2、 3、4	SI 12 に規定さ れる新しいマーク	SI 9.2 以外の フィニッシュ・マ ーク
420 級	オレンジ色旗 を掲げたレー ス委員会艇	黄色の三角錐のブイ		オレンジ色 の俵ブイ	ピンク色のブイ
レーザーラジアル級					

10. 申し込みエントリーと大会オープンチャットへの参加について

10.1 申し込みのエントリーは府連 HP 内の大会ページから行う

大会ページ

<https://sites.google.com/view/kyoto-sailing/びわこウィーク?authuser=0>

申し込み期限は3月18日(金)

10.2 [DP] [NP]エントリーを済ませた選手、およびその支援者は**3/18 日までに**大会オープンチャットに参加すること

オープンチャット上での名前の記載は「所属 クラス セール No 氏名」、または「所属 支援者 苗字」と記載すること(所属は 2-3 文字に短縮する)

(例) 選手 「琵琶高 420 0123 琵琶湖太郎」 「柳ヶ SC LR 2345 滋賀花子」

支援者 「南湖 C 支援者 田中」

11. スタート

11.1 スタート・ラインは両端のスタート・マーク上のオレンジ旗を掲揚しているポールの間とする。

11.2 [DP] [NP] 予告信号が発せられていない艇は、他のレースのスタート手順の間、スタート・ラインから 50m 以上のスタートエリアを回避しなければならない。

11.3 スタート信号後 4 分以内にスタートしない艇は、審問なしに DNS と記録される。

これは RRS A4 および A5 を変更している。

12. コースの次のレグの変更

コースの次のレグを変更するために、レース委員会は、新しいマークを設置し(またはフィニッシュ・ラインを移動し)、実行できれば直ぐに元のマークを除去する。

その後の変更で新しいマークを置き換える場合、そのマークは元のマークで置き換える。

13. フィニッシュ

フィニッシュ・ラインは、一端にあるフィニッシュ・マーク上の青色旗を掲揚しているポールと、他端にあるフィニッシュ・マークのコース側の間とする。

ただし、レース委員会がコース短縮の信号を発した場合は、RRS 32.2 の通りとする。

14. ペナルティー方式

14.1 RRS 付則 P が、SI 14.2 により変更されて適用される。

14.2 RRS P2.2 および P2.3 は適用されず、RRS P2.1 の 1 文目を以下の文で置き換える。

「規則 P1.2 に基づくペナルティーを課された場合、艇のペナルティーは、規則 44.2 に基づく『2 回転ペナルティー』でなければならない。」

14.3 [SP] の記された規則に違反した艇に、レース委員会は審問なしに標準ペナルティーを課することができる。これは RRS 63.1 および A5 を変更している。標準ペナルティーを課された艇は、得点略語 STP を用いて記録される。

[SP] の記された規則に対する標準ペナルティーのリストは、1 日目の 8:00 までに掲示される。レース委員会は、この標準ペナルティーが適切ではないと考えた場合、艇を抗議することもできる。

標準ペナルティーが課された場合、その艇のその規則違反は、艇による抗議の根拠とはならない。これは RRS60.1(a)を変更している。

14.4 [SP] または[DP] の記された規則、レース公示の規則、クラス規則、RRS 付則 G の規則および RRS 77 の違反に対するペナルティーは、プロテスト委員会が裁量により失格より軽減することができる。

15. タイム・リミット、ターゲット・タイムとフィニッシュ・ウィンドウ

15.1 ターゲット・タイム、タイム・リミット、マーク 1 のタイム・リミット、および フィニッシュ・ウィンドウは以下の通りとする。

種目	ターゲット・タイム	タイム・リミット	マーク 1 のタイム・リミット	フィニッシュ・ウィンドウ
420 級	45 分	70 分	25 分	15 分
レーザーラジアル級	40 分	60 分	25 分	15 分

15.2 マーク 1 のタイム・リミット内に 1 艇もマーク 1 を通過しなかった場合、レースは中止される。

15.3 レース委員会は、RRS 32.1(a)~(d)に加えて：


(e) マーク 1 のタイム・リミット内に 1 艇もマーク 1 を通過できそうもない不十分な風の場合、レースを中止することができる。

(f) ターゲット・タイム内に 1 艇もフィニッシュできそうもない不十分な風の場合、コースを短縮することができる。

この項は、RRS 32.1 を変更している。

15.4 RRS 28 および RRS 30 に従ってスタートし、コースを帆走した最初の艇がフィニッシュした後、フィニッシュ・ウィンドウ内にフィニッシュしない艇は、審問なしに『フィニッシュしなかった (DNF)』と記録される。これは RRS 35、A4 および A5 を変更している。

16. 抗議、救済要求と審問再開要求

16.1 審問要求は、適切な時間内にオンライン掲示板内で投稿することで提出されなければならない。(オンライン掲示板の  ボタンを押すことで記入できる。インシデントの図は紙に書いて写真を添付すること。詳しくは以下のガイダンスを参考に)。

尚、レース後ペナルティーの履行、及び裁量ペナルティーはプロテスト事務局にある書面に直接記入して提出すること。

(参考)オンライン掲示板・審問要求のガイダンス

<https://drive.google.com/file/d/1HErNi7NU1NJwkTqFAsAdppw9FMNTUfnT/view>

16.2 それぞれのクラスに対して、抗議締切時刻はその日の最終レースに最終艇がフィニッシュした時刻、または、レース委員会が本日これ以上レースを行わないという信号を発した時刻、どちらか遅い方の 60 分後とする。抗議締切時刻はオンライン掲示板(通知ページ)に掲示される。

16.3 当事者である競技者に審問があることを知らせるために、抗議締切時刻後 30 分以内にオンライン掲示板(審問予定ページ)に掲示される。審問は、府連艇庫内にあるプロテスト・ルームにて、掲示された時刻に開始される。

16.4 レース委員会またはプロテスト委員会による抗議を RRS 61.1(b)に基づき艇に伝えるための通告はオンライン掲示板(ドキュメントページ)に掲示される。

16.5 SI 14.1 に基づき RRS 42 違反に対するペナルティーを課された艇のリストはオンライン掲示板(海上ペナルティページ)に掲示される。

16.6 SI 14.3 に基づき標準ペナルティーを課された艇のリストはオンライン掲示板(ドキュメントページ)に掲示される。

16.7 [NP] の記された規則、レース公示の規則、RRS 付則 G の規則および RRS 77 の違反は、艇による抗議の根拠とはならない。これは RRS 60.1(a)を変更している。

16.8 審問の当事者による審問再開要求は、1 日目または 2 日目に判決を通告された審問については翌日の 8:00 までに、最終日に判決を通告された審問については通告から 15 分以内に提出されなければならない。これは RRS 66 を変更している。

16.9 審問の判決は掲示される。最終日のプロテスト委員会の判決に基づく救済要求は、判決の掲示から 15 分以内に提出されなければならない。これは RRS 62.2 を変更している。

17. 得点

- 17.1 大会の成立には、1 レースを完了することが必要である。
- 17.2 7レース未満しか完了しなかった場合、艇のシリーズ得点は、全てのレース得点の合計とする。

18. [NP] 安全規定

- 18.1 乗員の 1 名が大会 LINE オープンチャットの投票機能を用いてチェックアウト(出艇申告)またはチェックイン(着艇申告)することができる。チェックインは、1 日目は 11:00 から、2 日目と 3 日目は 7:45 に投票ボックスが投稿されることで受付開始される。ただし天候不良による出艇延期の際に投票ボックスの投稿が延期される場合がある。
- 18.2 [SP] 出艇しようとする艇は、出艇する前にチェックアウトしなければならない。帰着した後その日に再度出艇する前にも、チェックアウトしなければならない。クルーを2名でエントリーした 420 級は、レースに参加するクルーによる申告でなければならない
尚、ペナルティーはその日の最初のレースに課す。
- 18.3 [DP] 帰着した艇は、帰着後直ちにチェックインしなければならない。
[SP] 加えて、チェックインは抗議締切時刻までに完了されなければならない。
尚、ペナルティーはその日の最終レースに課す。
- 18.4 [DP] レースからリタイアする艇は、頭上にバツ印を作ることにより、できるだけ早くレース委員会またはプロテスト委員会に伝えなければならない。
[SP] 加えて、リタイアした場合には、下記の『リタイア報告書』に入力し安全上の理由がない限り、水上陸上に関わらず、できるだけ早く提出(投稿)しなければならない。
リタイア報告書 <https://forms.gle/VVove3yCiWCWYDM68>
- 18.5 レース委員会は、安全上必要と判断した場合、艇が求めなくても艇を救助することができる。
艇はこの救助を拒否してはならない。
この場合のレース委員会の判断の誤りは、艇による救済要求の根拠とはならない。これは RRS 60.1(b)を変更している。
- 18.6 [DP] 水上で回答旗または N 旗とともに H 旗または A 旗が掲揚された場合、RRS『レース信号』に規定された意味に加え、「艇は速やかにハーバーに帰着しなければならない」ことを意味する
- 18.7 [DP] 曳航ロープについて
(a) 420 級については420クラス規則のとおりとする。
(b) レーザーラジアル級は、直径6mm 以上、長さ5m 以上の曳航ロープをバウアイにつけること。
- 18.8 [DP] 各選手は、ライフジャケットを出艇中常時着用しなければならない。これは RRS 40 を変更している

19. [DP] 乗員の交代と装備の交換

- 19.1 競技者の交代は、事前にレース委員会艇に口頭で伝え承認を得なければならない
- 19.2 損傷または紛失した装備の交換は、レース委員会の承認なしでは許可されない。交換する艇は、最初の妥当な機会に、レース委員会に承認を要請しなければならない。

20. 装備と計測のチェック

装備は、いつでも検査または計測されることがある。水上で艇は、検査のために直ちに指定されたエリアに向かうことを指示されることがある。

[DP] [NP] 艇は、検査または計測を行うレース委員会メンバの指示に従わなければならない。

21. (予備)

22. 運営艇

運営艇の標識旗は、以下の通りとする。

運営艇	識別旗
レース委員会	白色
プロテスト委員会	白地に“JURY”の文字

23. 支援艇

- 23.1 支援者は、最初にスタートするクラスの準備信号の時刻から全ての艇がフィニッシュもしくはリタイアするか、またはレース委員会が延期、ゼネラル・リコールもしくは中止の信号を発するまで、添付書 C に定める「艇がレースをしているエリア」の外側にいなければならない。
- ただし、主催団体またはレース委員会の要請または許可に基づき運営艇に乗艇している場合を除く。
- 23.2 支援者は、支援艇の引き波の影響をレース中の艇に与えてはならない。
- 23.3 長音 1 声と共に掲揚されたピンク旗が掲揚されている間、支援艇に乗艇している支援者は、危険な状態にある艇に対して、可能な限りのあらゆる救助をしなければならない。この規則が適用されている間は、SI 23.1 および SI 23.2 は適用されない。
- 23.4 RRS 64.5(a)(3) に基づくプロテスト委員会の権限には、以下を含む：
- (i) その人物の大会期間中の行動を制限する。
 - (ii) その人物が違反したときに乗艇していた支援艇の大会期間中の使用を制限する。

24. ごみの処分

競技者は、ごみを運営艇に渡してもよい。

25. [DP]無線通信

非常時を除き、レース中の艇は、音声やデータを送信してはならず、かつ、全ての艇が利用できない音声やデータ通信を受信してはならない。

26. 賞

種目別の第 1 位から第 3 位の艇に表彰状とトロフィーを授与する。

27. 責任の否認

この大会の競技者は、自分自身の責任で参加する。RRS 4(レースすることの決定)参照。主催団体は、大会の前後、期間中に生じた物的損害または人身傷害もしくは死亡によるいかなる責任も負わない。

28. [DP] [NP]保険

競技者および支援艇乗艇者は有効な傷害保険と賠償責任保険に加入していなければならない。

以上

レース・エリア (SI 7)



レガッタ・ハーバー



コース (SI 8)

I (インナートラペゾイド・コース)

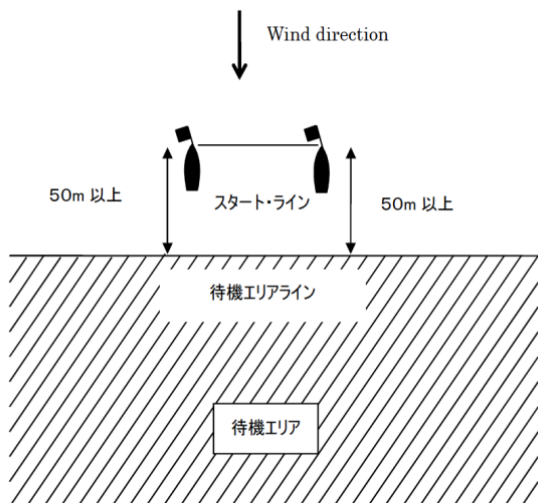
信号	マーク通過順
I2	スタート - 1 - 4s/4p - 1 - 2 - 3p - フィニッシュ
I3	スタート - 1 - 4s/4p - 1 - 4s/4p - 1 - 2 - 3p - フィニッシュ

O (アウトトラペゾイド・コース)

信号	マーク通過順
O2	スタート - 1 - 2 - 3s/3p - 2 - 3p - フィニッシュ
O3	スタート - 1 - 2 - 3s/3p - 2 - 3s/3p - 2 - 3p - フィニッシュ

SI11.2 による待機エリア

待機エリアライン図



艇がレースをしているエリア (SI 23.1)

SI 23.1 に規定された「艇がレースをしているエリア」は、以下の通りとする。

1. レース中の艇から 100m 以内、
2. 準備信号から、全てのレース中の艇がスタート・ラインを離れるまで、またはレース委員会が延期、ゼネラル・リコールもしくは中止の信号を発するまでの間の、スタート・ラインとスタート・マークから 100m 以内、
3. レース中の艇と次のマークとの間、
4. 両方にレース中の艇がいる場合の、インナー・ループとアウター・ループの間、
5. レース中の艇が 100m 以内にいるマークから 100m 以内、および、
6. レース中の艇が 100m 以内にいる場合の、フィニッシュ・ラインとフィニッシュ・マークから 100m 以内。

支援者は、ここに定められたエリアの外側にいることに加えて、SI 23.2 にも従わなければならない。